

【JAF鹿児島×環境省】「奄美ゼロードキルプロジェクト」 アマミノクロウサギを守るためのアンケート結果について

レポート作成日：2024年2月20日

レポート作成者：一般社団法人日本自動車連盟鹿児島支部 原山大器



1.目的 JAF鹿児島支部は、ロードキルが増えているという状況を改善するため、「奄美ゼロロードキルプロジェクト」と題し、環境省奄美野生生物保護センターの方々とオンラインミーティングを重ねています。話し合いの中で、**ロードキルにおけるデータが不足しているという問題**が明らかになりました。

いつ、どこで、だれがロードキルを起こしてしまっているのか、ロードキルの認知度はどれくらいなのかなどのデータが足りていません。そこで、プロジェクトの第一歩として、ロードキルに関するアンケートを実施しました。

2.調査期間 2023年11月1日(水)～12月31日(日)

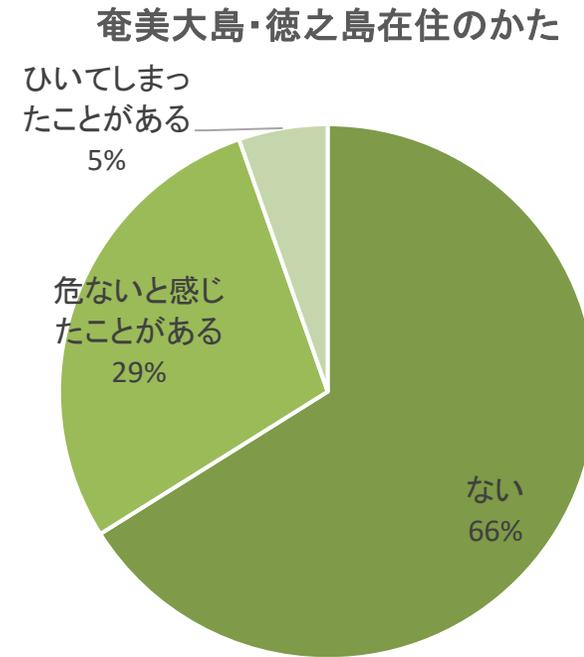
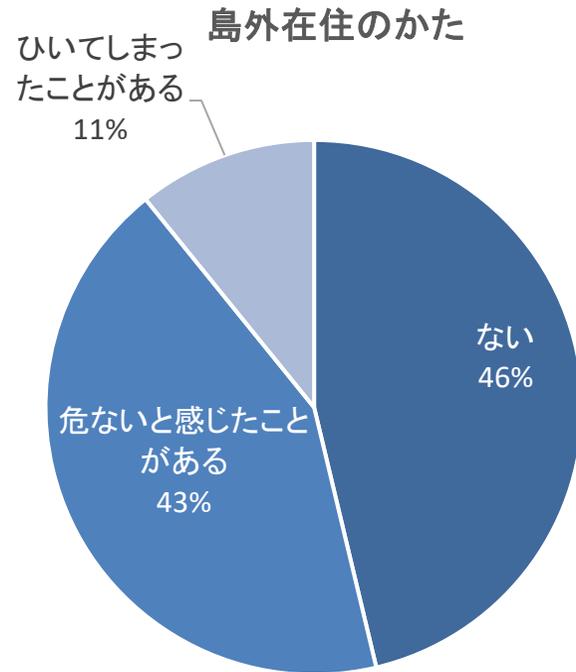
3.調査方法 JAFホームページでのインターネットアンケート

4.調査結果 回答者数 7,828名(島外7,660名、奄美大島・徳之島内168名、)

Q1. 運転中（または同乗中など）に、野生動物が道路に出ていて危ないと感じたり、ひいてしまったりしたことはありますか？



JAF

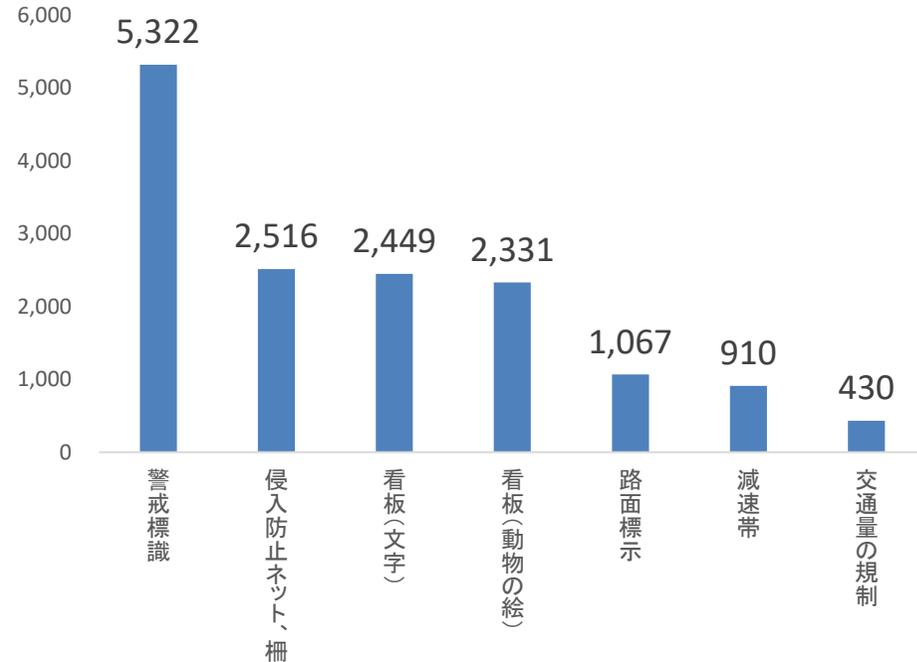


「野生動物が出てきて危ないと感じたり、実際に引いてしまった」経験のある方が奄美大島・徳之島在住では34%、島外在住では54%もいることがわかりました。

Q2. お住まいの地域や旅行先で見たことがある野生動物のための交通事故対策は？ ※複数回答

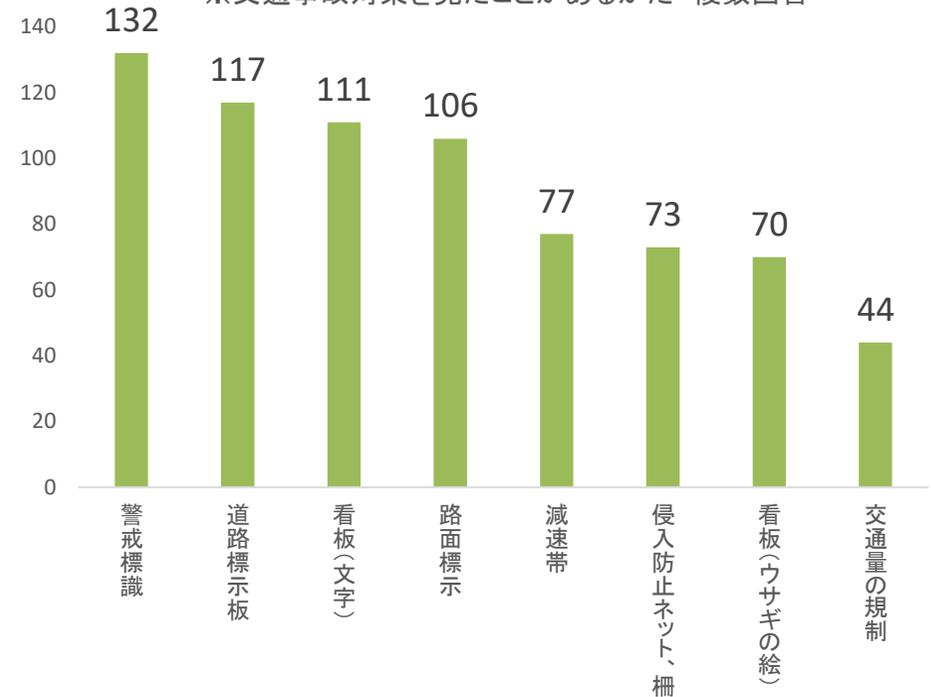
島外在住のかた

※交通事故対策を見たことがあるかた 複数回答



奄美大島・徳之島在住のかた

※交通事故対策を見たことがあるかた 複数回答



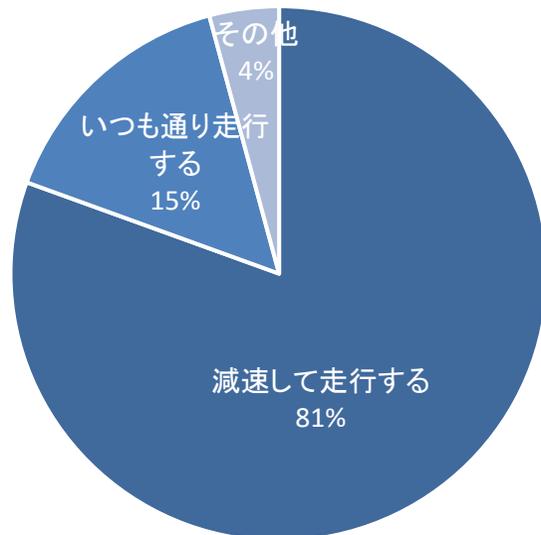
島外、奄美大島・徳之島 ともに見たことがある交通事故対策

1位は「警戒標識」

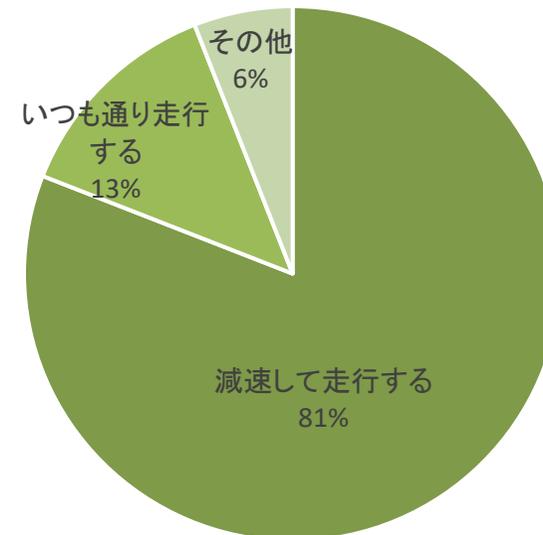
そのほかの道路標示板、看板など様々な対策がドライバーの目に留まっているようです。

Q3. 交通事故対策のある場所ではあなたはどうしていますか？

島外在住のかた



奄美大島・徳之島在住のかた



交通事故対策のある場所では「減速して走行する」が81%

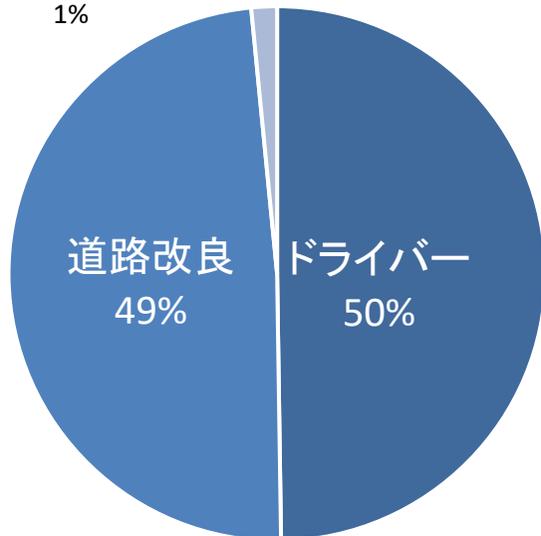
Q4. 野生動物の交通事故はドライバーが気をつければ良いと思いますか？
それともフェンスやアンダーパスなどの道路の改良が必要だと思いますか？



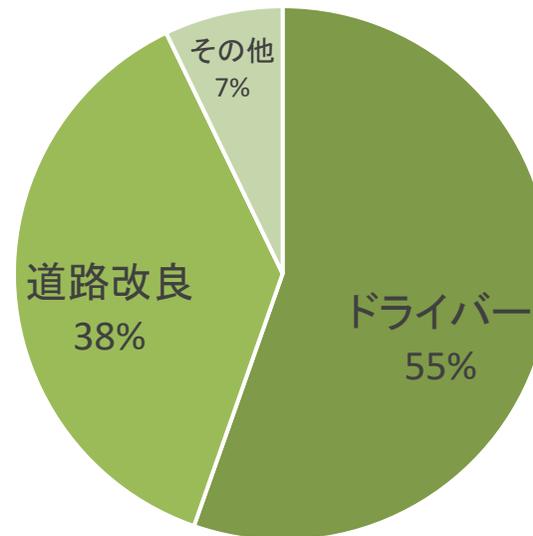
JAF

島外在住のかた

どちらも必要で
はない
1%



奄美大島・徳之島在住のかた



どちらもドライバー・道路改良に意見が分かれる結果に



島外在住のかたへのアンケート

回答者のデータ(島外在住のかた)

お住まいのエリア	回答者数	割合
北海道	295	3.9%
東北	316	4.1%
関東	2,198	28.7%
中部	1,554	20.3%
関西	908	11.9%
中国	272	3.6%
四国	150	2.0%
九州・沖縄	1,967	25.7%
合計	7,660	100.0%

年代	回答者数	割合
10代	8	0.1%
20代	140	1.8%
30代	369	4.8%
40代	1,005	13.1%
50代	2,267	29.6%
60代	2,537	33.1%
70代以上	1,334	17.4%
合計	7,660	100%

回答者は、JAF会員が96.6%(7,396名)
一般の方が 3.4%(264名)

回答者のデータ(島外在住のかた)

クルマを運転する頻度	回答者数	割合	夜間や早朝の時(23時~5時)に運転する頻度	回答者数	割合
ほとんど毎日	4,186	54.6%	ほとんど毎日	244	3.2%
週3~4回程度	1,386	18.1%	週3~4回程度	248	3.2%
週に1~2回程度	1,708	22.3%	週に1~2回程度	769	10.0%
月に1回程度	223	2.9%	月に1回程度	1,467	19.2%
ほとんど運転しない	143	1.9%	ほとんど運転しない	4,915	64.2%
運転免許証を持っていない	14	0.2%	運転免許証を持っていない	17	0.2%
合計	7,660	100.0%	合計	7,660	100.0%

ロードキルが多いとされる夜間(23時~5時)の運転頻度は

1位は「ほとんど運転しない」

2位「月に1回」 3位「週に1~2回程度」

「奄美大島・徳之島在住のかた」と運転の頻度は変わらない結果

Q1. 野生動物の交通事故を減らすために、今後やってみたい・
続けていきたい対策は何かありますか？ ※複数回答



JAF

今後やってみたい・続けていきたい対策	回答数	割合
看板がある場所などでは減速する	6,233	81%
路肩に注意して走る	3,611	47%
道路でのナイトツアーはガイドや慣れた人に案内を頼む	766	10%
野生生物の生態や交通事故の原因について調べる	1,031	13%
家族や友人と話し合う	564	7%
交通事故対策に繋がる募金をする	556	7%
その他	164	2%
特にない	193	3%
合計 回答者数7,660名(※複数回答)	13,118	171%

1位は「看板がある場所などでは減速する」

2位「路肩に注意して走る」という結果からドライバーの意識が重要だということが読み取れる。



奄美大島・徳之島在住のかたへのアンケート

回答者のデータ(奄美大島・徳之島在住のかた)

お住まいのエリア	回答者数	割合
奄美大島北部エリア(笠利町 龍郷町)	21	12.5%
奄美大島中部エリア(名瀬 住用 大和村)	51	30.4%
奄美大島南部エリア(瀬戸内町 宇検村)	80	47.6%
徳之島町	7	4.2%
伊仙町	1	0.6%
天城町	8	4.8%
合計	168	100.0%

年代	回答者数	割合
10代	21	12.5%
20代	15	8.9%
30代	22	13.1%
40代	35	20.8%
50代	48	28.6%
60代	21	12.5%
70代以上	6	3.6%
合計	168	100.0%

回答者は、JAF会員が19.0%(32名)
一般の方が81.0%(136名)

回答者のデータ(奄美大島・徳之島在住のかた)

クルマを運転する頻度	回答者数	割合	夜間や早朝の時(23時～5時)に運転する頻度	回答者数	割合
ほとんど毎日	86	51.2%	ほとんど毎日	7	4.2%
週3～4回程度	26	15.5%	週3～4回程度	10	6.0%
週に1～2回程度	25	14.9%	週に1～2回程度	23	13.7%
月に1回程度	6	3.6%	月に1回程度	31	18.5%
ほとんど運転しない	4	2.4%	ほとんど運転しない	76	45.2%
運転免許証を持っていない	21	12.5%	運転免許証を持っていない	21	12.5%
合計	168	100.0%	合計	168	100.0%

ロードキルが多いとされる夜間(23時～5時)の運転頻度は
 1位は「ほとんど運転しない」
 2位「月に1回」 3位「週に1～2回程度」

「島外在住のかた」と運転の頻度は変わらない結果

Q1. アマミノクロウサギの交通事故は年々増加しています。
事故を減らすためには、どんな対策が1番有効だと思いますか？

1番有効だと思う対策	回答者数	割合
減速帯	31	18.5%
ウサギが道路に出てこないようにする	30	17.9%
アンダーパス(陸橋や暗渠など道路の下に動物の通り道をつくること)	21	12.5%
交通量の調整(ゲート設置や地域独自のルールづくりなど)	18	10.7%
警戒標識	17	10.1%
看板(ウサギの絵)	16	9.5%
その他	14	8.3%
道路標識	8	4.8%
オーバーパス(トンネルのように頭上に動物の通り道をつくること)	7	4.2%
看板(文字)	6	3.6%
合計	168	100.0%

1位は「減速帯」の設置

2位「ウサギが道路に出てこないようにする」 3位「アンダーパス(陸橋や暗渠※地下に設けた水路)など道路の下に動物の通り道をつくること」という結果から、奄美大島・徳之島では道路構造物によってドライバーが野生生物を意識しない環境作りが求められていることがわかりました。



Q2. アマミノクロウサギの交通事故を減らすために、あなた自身ですでに実施していることは何かありますか？(複数回答可)

既に実施している対策	回答数
看板がある場所などでは減速する	105
路肩に注意して走る	95
道路でのナイトツアーはガイドや慣れた人に案内を頼む	29
家族や友人とアマミノクロウサギの交通事故について話し合う	27
アマミノクロウサギの生態や交通事故の原因について調べる	25
特にない	21
交通事故対策に繋がる募金をする	11
その他	4
合計	317

1位「看板がある場所などでは減速する」

2位「路肩に注意して走る」

3位「道路でのナイトツアーはガイドや慣れた人に案内を頼む」

多くの方が複数の対策を行っていることがわかりました。



このアンケートやロードキルなどに関して質問やご意見

このアンケートやロードキルなどに関して質問やご意見 ※一部抜粋



野生動物保護、交通事故減少の観点から大事な事と思います(60代)

奄美にはクロウサギなどの天然記念物が生息するので、いかに共存していけるかが大切だと思います。(30代)

ロードキルという言葉を知った。(30代)

黒ウサギは夜認識しづらい。道路に動物を感知すると反応するライトやセンサーがあると改善のヒントになるかもしれない。(20代)

車に轢かれてしまう動物が減ることを願います(20代)

アマミノクロウサギのロードキルについて初めて知りました。もし今後旅行に行くことがあったら気を付けたいと思います。TVや新聞などで、旅行者にももっとこの取り組みが広げれば良いと思います。(40代)

田舎なので、轢かれて道路に倒れている動物をよく見かけます。どこに連絡したらいいのかが分からない。(40代)

ロードキルに遭遇してしまった時の対応をどうするのがいいのか、知りたい。(40代)

経験から言うとどんなに気を付けて安全運転しても避けられない事があるので、草刈りや柵の設置で安心して走れるようにしてほしい。(60代)



一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF) 鹿児島支部
推進課事業係兼推進係 原山 大器

TEL:099-284-0007 / FAX:099-250-4103
E-mail:t-harayama@o3.jaf.or.jp

